

Step1 受診する場所を探す

- 1 勤務先の健康保険組合等に参加している場合 ➡ 勤務先の担当部署に連絡
- 2 それ以外 ➡ お住まいの市町村のHPもしくは電話で受診する場所を探す

市町村名	電話番号	市町村名	電話番号
横浜市 コールセンター [横浜市けんしん 専用ダイヤル]	045-664-2606	秦野市	0463-82-9603
川崎市 川崎市がん検診 ・特定健診等 コールセンター	044-982-0491	伊勢原市	0463-94-4616
相模原市 コールセンター	042-770-7777	厚木市	046-225-2201
横須賀市	046-822-4307	海老名市	046-235-7880
藤沢市	0466-21-7344	座間市	046-252-7995
茅ヶ崎市	0467-38-3331	愛川町	046-285-2111(代)
鎌倉市	0467-61-3942	清川村	046-288-3861
返子市	046-873-1111(代)	大和市	046-260-5662
葉山町	046-876-1111(代)	綾瀬市	0467-77-1133
三浦市	046-882-1111(代)	小田原市	0465-47-4724
寒川町	0467-74-1111(代)	箱根町	0460-85-0800
平塚市	0463-55-3700	真鶴町	0465-68-1131(代)
大磯町	0463-61-4100(代)	湯河原町	0465-63-2111(代)
二宮町	0463-71-7100	南足柄市	0465-74-2517
		中井町	0465-81-5546
		大井町	0465-83-8012
		松田町	0465-84-5544
		山北町	0465-75-0822
		開成町	0465-84-0327

※代表番号の場合は「がん検診の問合せである」ことをお伝えください。

詳しい情報はこちらへ▶

神奈川 がん検診の場所 検索



Step2 予約する

[受診場所]

[受診日]

月

日

()

時

分

Step3 受診する



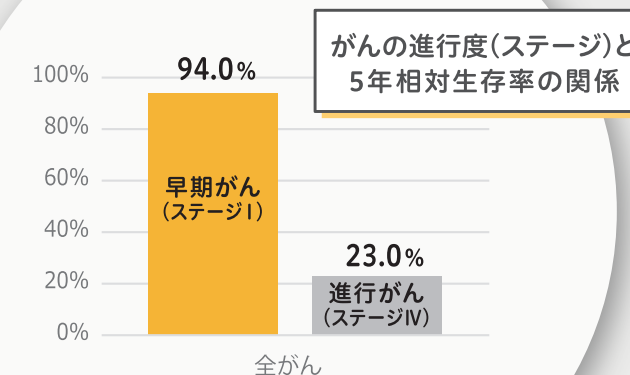
最近いつ、 がん検診を受けましたか？



いまやがんは、日本人の2人に1人になる時代です。

がんが早期に見つかった場合と進行してから見つかった場合とでは、

5年後の生存率に約70%差が出ます。



出典:「がんの統計2022」全国がんセンター協議会
加盟施設における5年生存率
(2011~2013年診断例)

だからいま、がん検診。

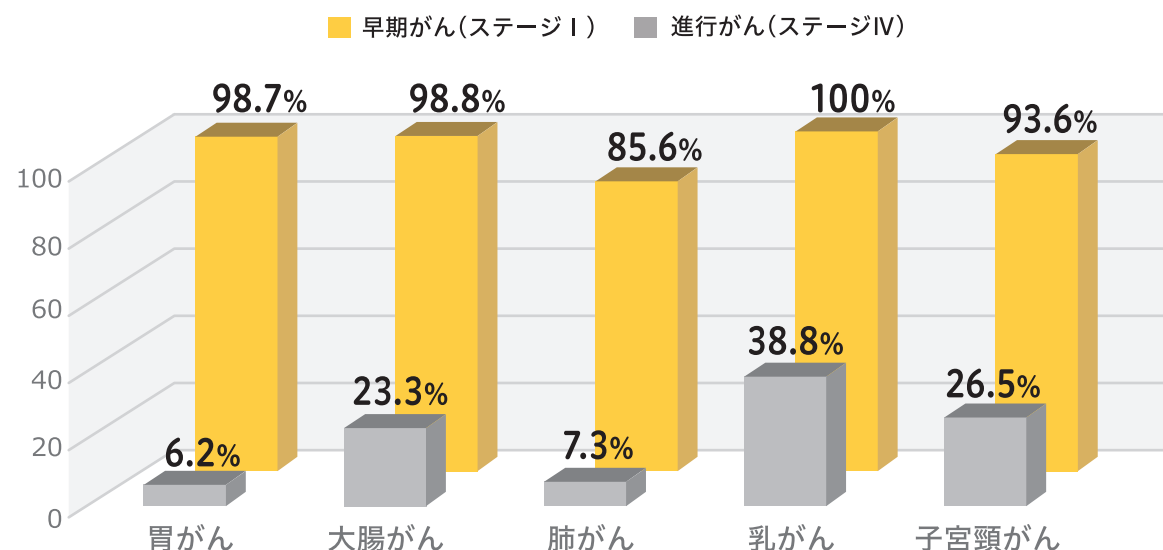
健康なのに受診する必要があるの？



健康だと思っている
あなたが受診対象です

「自分は健康だから大丈夫」、その油断こそ大敵です。
がんは、早期の段階では痛みなどの自覚症状はありませんが、
治療技術の進歩により、早期の段階で発見できれば、
その多くが治る病気になってきています。
そのため、定期的な検診による**早期発見・早期治療が大切**なのです。

がんの進行度（ステージ）と5年相対生存率の関係



出典：「がんの統計2022」全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率（2011～2013年診断例）

がん検診を安く受けられる方法はあるの？



乳がん・子宮頸がん検診については、市町村によってはがん検診を無料または低額で受けられるクーポン券等をお送りしています。市町村により、対象となる方や検診の種類が異なりますので、詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。

精密検査が必要と言われたら？



「がんの疑いあり」とされた場合、精密検査は必ず受けましょう。精密検査が必要とされた人のうち、実際にがんが発見される人は1～5%に留まります。万一がんが見つかって、早期であるほど治療にかかる費用や身体への負担も少なくて済みます。

参考：肝炎ウイルス検査

肝臓は、“沈黙の臓器”と呼ばれ、肝炎にかかっても自覚症状はほとんどなく、肝硬変や肝がんへと重症化する心配があります。

肝がんの原因の約8割は、B型肝炎ウイルス、またはC型肝炎ウイルスの感染によるものです。肝がん予防のためにも、肝炎ウイルス検査の受検の有無及び検査結果を確認しましょう。

主ながん検診の種類

検診の種別	検診の内容	受診間隔	対象
胃がん	問診に加え、内視鏡（カメラが付いたチューブ）を口や鼻から挿入し、胃の中を直接観察します。または、バリウムを飲んで胃のX線写真を撮ります。（※）	2年に1回 <small>※当分の間、胃部X線検査については年1回実施可</small>	50歳以上男女 <small>※胃部X線検査については40歳以上男女</small>
大腸がん	問診に加え、採取した便に潜血があるかどうかを検査します。	年1回	40歳以上男女
肺がん	問診に加え、肺のX線検査及び喀痰細胞診をします。 <small>かくたん</small>	年1回	40歳以上男女
乳がん	問診及び専用の装置（マンモグラフィ）により、乳房のX線写真を撮ります。 ※視診・触診は推奨されていません。	2年に1回	40歳以上女性
子宮頸がん ^{けい}	問診、視診、細胞診（子宮の頸部から細胞を取って顕微鏡で検査）及び内診をします。	2年に1回	20歳以上女性